

国語科学習指導案

日 時 平成23年 11月11日(金) 2校時
会 場 1年3組教室 (南校舎4階)
生 徒 1年3組 (男15名 女20名 計35名)
授業者 奥山 由美

1 単元名 文章を読んで図や表をつくろう

学習材名 『未来をひらく微生物』(大島泰郎)
『自然の小さな診断役』(青木淳一)
『金星大気の教えるもの』(伊藤和明) ほか

2 単元について

(1) 学習者観

- ・これまでの学習では、「ちょっと立ち止まって」「クジラたちの声」という二つの説明的文章の学習を通して、段落の構成や表現の特徴について学習してきた。
- ・さらに、「ちょっと立ち止まって」では、文章にはない図を用いて、その図についての説明を書き加える学習をした。「クジラたちの声」では、別の文章から情報を抜きだし書きぶりを意識して書き加えるという学習を行った。
- ・これらの学習においては、文章構成や表現の特徴をとらえ、自分の考えをもちながら読むことができていた生徒が多いと思われた。そこで今回は、学習材に用いられている図表に注目させ、図表の特徴を理解しながら文章を読むことが、内容理解を助けるものとなっていることを実感させたい。

(2) 学習材観

- ・「未来をひらく微生物」は、微生物の環境改善への大きな可能性が述べられており、生徒達に新しい視点をひらかせる内容となっている。また、微生物と環境問題との関わりについて視覚的に説明する図表がついており、内容の理解に大きな役割を果たしている。よって、文章と図表との関連を捉えるには好材であると考えられる。
- ・かつて教科書に掲載された説明的文章は論理の展開も内容も把握しやすいものが多く、内容理解に役立つ図表も効果的に用いられている。そこで、本文のみの文章から、図や表で表した方がより効果的だと思われる部分を抜き出し、適切な図表を考える学習が成り立つ学習材といえる。
- ・図や表、写真といった非連続型テキストを用いた意図を読み取るという点で、既習の学習材についても改めて触れたい。

(3) 学習指導観

- ・「未来をひらく微生物」を通して、文章と図表には密接な関わりがあること、また図表が文章の理解を助ける役割を果たしていることをつかませたい。
- ・説明的文章と図表との関連はこれまで触れてこなかったが、図表を用いた筆者の意図を読み取ることは内容の理解にもつながっていくと考えられる。よって、既習の教材を振り返り、非連続型テキストの活用の仕方や効果についても考えさせたい。
- ・図表を作成する学習を通して、説明的文章において正しく図表を読み取ることは、述べられている文章をよりの確に理解することにつながるということを指導したい。

(4) 研究との関わり

- ・単元のおおまかな捉えとしては、教科書教材を用いて説明的文章と図表の関係や、それぞれの図表の特徴を学ぶまでを「共有の課題」と捉え、学んだことをもとに各自が選択した文章の内容を補うような図表を考える段階を「ジャンプの課題」とした。
- ・「表現と共有」については、説明的文章の内容にあわせて図表を作成する学習活動を主な「表現」として位置づけ、作成過程での協同的な学びや、完成した図表を文章とともに読みあう活動の中で「共有」が行われることをねらっている。
- ・ここでの主な活動は、文章の内容を補うための効果を考えて図表を作成する言語活動であり、そのことにより、文章と図表との関係において理解を深めることをねらいとしている。

3 単元の目標と評価規準

観 点	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
目 標	説明の文章と図表との関係を考え、効果や意味を考え適切な図表を書き加えようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・図表が文章の中心的な部分、付加的な部分のどの部分と関連しているのかを読み取り、書き手の伝えたい内容を的確に読み取ることができる。 ・文章の構成や展開、表現の特徴などを、図表と関連させて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の辞書的な意味をとらえ、文章の中で果たしている役割を考えることができる。 ・文章の中で、語句が指示したり接続したりする範囲をおさえ、内容を読み取ることができる。
評価規準	文章を補うのに効果的な図表を書き、適切な位置を考え組み込もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・図表が文章の中心的な部分、付加的な部分のどの部分と関連しているのかを読み取り、書き手の伝えたい内容を的確に読み取っている。 ・文章の構成や展開、表現の特徴などを踏まえて、図表を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の辞書的な意味をとらえ、文章の中で果たしている役割を考え内容を読み取っている。 ・文章の中で、語句が指示したり接続したりする範囲をおさえ、内容を読み取っている。
言語活動	文章と図表などとの関係を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。 言語活動例（2）イ		

4 学習指導計画（全5時間）

(1) 文章と図表との関係をとらえる。(3)

- ・「未来をひらく微生物」を読み、文章と図表の関連をおさえ、図表の効果を考える・・・2
- ・非連続型テキストの種類や、テキストを用いる筆者の意図をとらえる・・・1

(2) 図表と文章との関係について理解を深める。(2)

- ・他の学習材について、文章の内容理解を深めるための図表を作成する・・・1 【本時】
- ・効果的な情報の選択、図表の選択であるか評価し、文章と図表の役割についてまとめる・・・1

5 本時の指導 (4/5)

- (1) 目標 筆者の意図をとらえ、文章の内容理解を深めるような図表を作成することができる。
 (2) 展開

学習活動	学習内容	指導のための工夫	評価の視点・方法
【既習の学習】 ・前単元において、説明的文章における段落の構成や論理の展開をとらえる学習をしている。 ・前単元において、作品の書きぶりをまねて説明を書き加える学習をしている。 【前時の学習】 ・前時は既習の学習材に用いられた図表について、筆者の意図とその効果について考えた。			
1 共有の課題を把握する。 (5分)			
短い説明的文章を読み、説明の理解を助ける図表を作成しよう。			
2 共有の課題を追究する。 (15分)		○4人グループで学び合う体制を作る。	
①文章を読み内容を把握する。	○説明の中心的部分をとらえる。		
②必要な情報を抜き出し、図を作成する。	○情報を読み取り、図表にすべき情報を整理する。	○学習シートに情報を整理させ、図式化させる。	
3 ジャンプの課題を把握する。			
「自然の小さな診断役」を読み、「ササラダニ」の住む場所を説明する図表を作成しよう。			
4 ジャンプの課題を追究する。 (25分)			[読む能力]
①文章を読み、内容を把握する。	○図表を添える段落の内容を理解する。		説明の内容を理解し図表の特徴を踏まえた上で、ひと目みて内容を解釈できるような図表を作成できているか。
②適切な形式を考え、内容の理解を助けるような図表を作成する。	○書かれた情報を整理するという観点から、図表の形式を考える。	○ササラダニの住む場所の情報を抜き出させる。	
③作成した図について交流する。	○表現したものを読み合い、考えを共有する。	○説明の理解を助けるのにふさわしい図表になっているか 評価の観点	
5 本時の学習の記録を書く。 (5分)	○学習を通して分かったこと、つけた力についてまとめる。	・情報の抜き出しの適切さ ・図表への書き表し方は適切か	〈シートへの記述〉 A・意図的な情報選択 ・効果的な表現 ・図表の選択
【次時や別単元での学習】 ・次時：文章と図表の役割、図表を用いる筆者の意図についてまとめる 【別単元での学習】 ・図表を用いて自分の考えや意見を説明する学習。 ・説明的文章を読み、説明内容や表現について自分の考えをもつ学習。 ・説明的文章に盛り込まれた情報を比較して読む学習。			